



2014年も残りわずか



2014年も残すところ後数日となりました。今年も様々な出来事があり、世界的に見ると2013年12月頃からギニアを中心とした西アフリカでエボラ出

血熱が流行し、アメリカやイギリスでも感染が確認されました。日本でも10月27日に羽田空港、11月7日に関西国際空港でそれぞれ感染疑いが確認され、共に陰性の検査結果が出ましたが、不安な日が続いています。

また、9月には長野県と岐阜県の県境にある御嶽山が噴火し戦後最大の被害となりました。

その一方、男子テニスでは、錦織圭選手がアジア勢初の全米オープン準優勝、世界ランク5位と躍進し、日本に明るい話題と希望を届けてくれました。

琵琶湖中央病院では

そして、当院においては、病院創立30周年の事業として増改築工事を進めてまいりました。

本年6月に病棟の増築工事の終了及び移転、10月に外来受付と医事課を移転し、新外来での診察を開始しました。また、11月には地域連携室の移転と、リハビリテーションセンターの拡張を行い、リハビリテーション機能を充実しました。

さらに、来年3月より電子カルテの導入を予定しており、現在、準備を進めております。

全工事過程の終了は、2月頃を予定しております。

この1年、増改築工事に、ご支援、ご協力いただき感謝申し上げますと共に、2015年が皆様にとって良き年となることを願っています。



第9回 いきいき健康教室を開催

秋晴れの10月23日(木)、当院にて第9回「いきいき健康教室」を開催しました。多くの方にご参加いただき、有意義なひと時となりました。

短い時間でしたが、皆様がいきいきと健康に過ごされるための参考となることを願っています。

「医学的根拠に基づく生き活きと健康に生きるための方策」

今回は「健康寿命」をテーマに循環器内科高橋伯夫医師が講演をしました。



降圧薬による治療方法を例に、

証拠・根拠に基づいた医学(EBM)^{※1}とは何か、健康寿命を伸ばすにはどのようにすればよいのか、人類の進化とメタボにはどのような関係があるのかなど幅広い講演内容となりました。

特に、食生活に関して、食塩の平均摂取量(約11g)と目標摂取量(6g)の差に驚きの声が出る場面や、高橋医師自身の食事メニューや運動量を例にした1日の摂取カロリーと消費カロリーの計算は、とても分かりやすかったというお声をいただきました。

また、講演後のティータイムでは、コーヒー又は紅茶と一緒に、当院の栄養科が作ったコーンとサツマイモのパンケーキを試食していただきました。



※1：証拠・根拠に基づいた医学(EBM)とは…振り返ってみて、よかった医療の実践、客観的な疫学的観察や統計学による治療結果の比較に根拠を求めながら、患者とも共に方針を決めること。